

参加費
無料

令和6年10月22日(火)

10:00-17:00

一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

「これからの国土づくりに向けた土研の貢献」

災害に立ち向かう 土研の技術力

令和六年度 土木研究所講演会

国立研究開発法人
土木研究所

特別講演 10:20-10:50

自然災害からいのちを守る
～自衛隊による災害派遣の概要と今後の課題～

防衛大学校防衛学教育学群統率・
戦史教育室長 教授／1等陸佐

川口 貴浩

特別講演(録画配信) 14:40-15:20

災害を通して考える土木の仕事

公益社団法人 土木学会 会長 佐々木 葉

講演 10:50-11:50/13:00-14:30

「道路土工構造物の被害と技術支援」
地質・地盤研究グループ 上席研究員 佐々木 哲也

「道路トンネルの覆工崩落とその対応」
道路技術研究グループ 上席研究員 日下 敦

「道路橋の被災および現地調査から見てきた課題」
橋梁構造研究グループ 上席研究員 大住 道生

「地すべり災害対策への技術支援と今後の課題」
土砂管理研究グループ 上席研究員 杉本 宏之

「農業水利施設における地震被害の特徴と対策」
寒地農業基盤研究グループ 上席研究員 大久保 天

パネルディスカッション 15:25-16:55

① 能登半島地震災害を経て短期的に取り組むべき課題
② 将来のインフラに向けて取り組むこと

座長：久保 和幸 理事

パネリスト：

宮武 裕昭 地質・地盤研究グループ グループ長
中村 圭吾 流域水環境研究グループ グループ長
水野 正樹 土砂管理研究グループ グループ長

藪 雅行 道路技術研究グループ グループ長
石田 雅博 橋梁構造研究グループ グループ長
佐々木 悟 寒地農業基盤研究グループ グループ長
石田 樹 特別監監

お申込み

参加ご希望の方は、下記のURLから事前申込みをお願いいたします。

<https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2024/1022/index.html>

・本講演会への参加は、原則、事前申込みをされた方のみとさせていただきます。

・Youtubeによるライブ配信を実施します。詳細は、土木研究所ホームページをご確認ください。

※ご提供いただいた個人情報、適正に管理させていただくとともに、国立研究開発法人土木研究所が主催する講演会等のご案内以外の目的には使用しません。

●土研新技術ショーケース in 新潟
10月31日(木)

●寒地土木研究所講演会
11月15日(金)



●国総研講演会
12月12日(木)



※QRコードをスキャンして、詳細情報をご確認ください。

お問い合わせ

国立研究開発法人土木研究所 企画部研究企画課

TEL: 029-879-6751 E-mail: kikaku@pwri.go.jp

<https://www.pwri.go.jp/>

主催：国立研究開発法人土木研究所

後援：国土交通省／公益社団法人土木学会／一般社団法人建設コンサルタント協会／
一般社団法人全国建設業協会／一般社団法人日本建設業連合会／一般財団法人土木研究センター



CPDプログラム：本講演会は、土木学会のCPDプログラムの認定を受けています。
CPDにかかる受講証明書は、1日参加の方にのみ後日送付します。(引換券は当日、受付時に配付します。)
但し、Youtubeのライブ配信視聴によって参加された方におかれましては、受講後のアンケートにおいて、受講して得られた所見(学びや気づき)を、100字以上で記載の上で提出いただくことが、CPDにかかる受講
証明書の条件となります。



講演会概要

プログラムの詳細は、土木研究所ホームページをご確認ください。

特別講演 10:20 - 10:50

自然災害からいのちを守る ～自衛隊による災害派遣の概要と今後の課題～

防衛大学校 防衛学教育学群 統率・戦史教育室長 教授／1等陸佐 **川口 貴浩**



本年8月、気象庁は制度の運用開始以降初めて「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表した。また毎年のように列島を襲う巨大な台風は甚大な被害を各地にもたらす。こうした大規模自然災害への備えが意識される中、本講演では自衛隊による災害派遣の基礎的な考え方や活動の概要について、災害派遣部隊の指揮官／幕僚としての実体験を交えつつ紹介するとともに、関係者間で取り組むべき課題について述べる。

10:00 - 10:15 **開会挨拶** 理事長 **藤田 光一**

10:50 - 11:50 **講演** [午前]

10:50 - 11:20

道路土工構造物の被害と技術支援

地質・地盤研究グループ 上席研究員 **佐々木 哲也**

能登半島地震におけるのと里山海道の盛土崩壊など土工構造物被害に対する現場の復旧支援、地震被害を踏まえた緊急点検に実施にむけた支援等の土研の取組について紹介する。



11:20 - 11:50

道路トンネルの覆工崩落とその対応

道路技術研究グループ 上席研究員 **日下 敦**

R6能登半島地震では、トンネルでも覆工の崩落をとまなう大きな被害が発生した。本講演では、地震発生後のトンネルチームでの取り組みとともに、過去の研究成果で得られた知見や道路トンネルでの耐震対策の考え方等について紹介する。



13:00 - 14:30 **講演** [午後]

13:00 - 13:30

道路橋の被災および現地調査から見てきた課題

橋梁構造研究グループ 上席研究員 **大住 道生**

橋梁構造研究グループが能登半島地震において行った現地調査、技術支援について、現地でのエピソードを交え、できるだけ具体的に臨場感をもって伝える。



13:30 - 14:00

地すべり災害対策への技術支援と今後の課題

土砂管理研究グループ 上席研究員 **杉本 宏之**

令和6年能登半島地震により多数の地すべり・斜面崩壊、河道閉塞等が発生した。初動対応、警戒避難対策、緊急工事等に対して土木研究所が行った技術支援、現在までに分かってきた地震地すべりに対する課題と今後の研究の方向性について報告する。



14:00 - 14:30

農業水利施設における地震被害の特徴と対策

寒地農業基盤研究グループ 上席研究員 **大久保 天**

本講演では、寒地農業基盤研究グループ、北海道開発局農業水産部および農林水産省が連携して実施した被害調査の状況を報告するとともに、農業水利施設の地震被害の特徴および地震対策の課題について述べる。



特別講演 (録画配信) 14:40 - 15:20

災害を通して考える土木の仕事

公益社団法人 土木学会 会長 **佐々木 稔**



土木の仕事は、人々の日常生活を豊かにするためにあります。それ故に、日常を転覆させる災害の影響を防ぐことも大切な仕事となります。様々な災害の報を通して私自身が考えてきたことをお話ししたいと思います。

15:25 - 16:55 **パネルディスカッション**

- ① 能登半島地震災害を経て短期的に取り組むべき課題
- ② 将来のインフラに向けて取り組むこと

座 長： **久保 和幸** 理事

パネリスト： **宮武 裕昭**

中村 圭吾

水野 正樹

藪 雅行

石田 雅博

佐々木 悟

石田 樹

地質・地盤研究グループ グループ長
流域水環境研究グループ グループ長
土砂管理研究グループ グループ長
道路技術研究グループ グループ長
橋梁構造研究グループ グループ長
寒地農業基盤研究グループ グループ長
特別研究監



久保 和幸



宮武 裕昭



中村 圭吾



水野 正樹



藪 雅行



石田 雅博



佐々木 悟



石田 樹

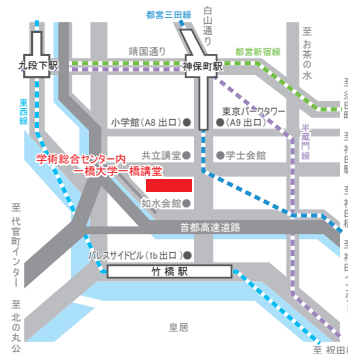
16:55 - 17:00 **閉会挨拶** 理事・寒地土木研究所長 **井上 勝伸**

17:15 - 18:15 **技術交流会**

●会費 (2,000円)

※当日キャンセルはやむを得ない事情を除き極力ご遠慮下さい。

Access



一橋大学一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
学術総合センター内

■電車でのアクセス

- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
神保町駅 (A8・A9出口) 徒歩4分
- 東京メトロ東西線
竹橋駅 (1b出口) 徒歩4分